



2023年 第34回学術大会 公開シンポジウム
「宮崎から見る世界の農業・防災・エネルギー」

主催：日本沙漠学会 共催：宮崎大学工学部

日時：2023年5月27日(土) 15:30～17:30 (受付 15:00～)

会場：ホテルメリージュ 大ホール 鳳凰 (参加費無料)

演題1「水・食料・環境の持続性確保のための人工衛星を使った地球観測技術」
多炭雅博 宮崎大学農学部森林緑地環境科学科 教授

演題2「防災×教育」で取り組む国際協力活動の可能性
～みやざきの経験をバヌアツに活かす～
川崎典子 宮崎大学工学教育研究部 工学基礎教育センター

演題3「沙漠地域にも広がる太陽光発電」
西岡賢祐 宮崎大学工学教育研究部 環境・エネルギー工学研究センター 教授

司会：入江光輝 宮崎大学工学教育研究部土木環境工学プログラム担当 教授

開催趣旨：

乾燥地や島嶼国など、日本とは気候や文化が大きく異なる地域に暮らす人々も宮崎と同じく農業、エネルギー、防災などに課題を抱えています。今回のシンポジウムではそうした開発困難地域や地球規模の課題への取り組みや、地域を超えた共通の課題の共有など、宮崎大学を拠点にする研究者の地域と海外での活動紹介を中心に議論を進めます。

お問い合わせ：

第34回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局

宮崎大学工学教育研究部 入江光輝

TEL：0985-58-7341

E-mail：jaals2023@gmail.com